

海賊史観

からみた

世界史の再構築

交易と
情報流通の
現在を
問い直す

稲賀繁美 編
INAGA Shigeni

*Pirate's View of the World History
A Reversed Perception of the Order of Things*

▶ A 5判・852頁／定価：本体 14,000円(税別)

【2017年3月刊行】

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	海賊史観からみた世界史の再構築		本体14,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1881-3
お名前				tel	
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				本書HPのQRコード

20世紀10年代の今日、既存の国際秩序や、20世紀初頭以来その基礎をなしてきた国民国家の理念は、随所でその耐用年限を露呈し始めている。あらたな代替秩序を提起し、その構築を社会にむけて提言するために、従来、違法行為・反社会的逸脱として一方的に断罪されてきた営為を、ここで抜本的に見直す必要が生じている。

本書は、文化交渉・交易全般における「海賊行為」を総合的に再検討することを目的とし、国際日本文化研究センターで行われた共同研究の報告書である。ここで言う「海賊行為」とは、交易路に対する私掠、著作権・複製権への侵害、公的秩序へのサボタージュ、さらには近年のサイバー攻撃などを含む。狭義の美術史、文化史、交易史のみならず、経済史、国際法、情報流通論などの分野の知見をも学際的に取り入れ、国際的視野から葛藤の現場を解明する。

〇〇内容目次〇〇

序文——海賊行為とジグソー・パズルの欠けたピース
研究計画および経緯

稲賀繁美
稲賀繁美

第Ⅰ部 インターネット時代の 知的財産権と海賊行為

ネットの海は無法か
—インターネットにおける〈海賊行為〉について
〈ひろゆき〉とは何だったのか
—「2ちゃんねる」からも「ニコニコ動画」からも離れて
マンガ翻訳の海賊たち
—スキャンレーションにおける航海術をめぐって
反海賊版協定はなぜ破れたか
[コラム] 経営者・川上量生のビジネス書を読む
—「説明できない」ニコニコ動画を「誰もやっていない」ビジネスチャン
スに変える術
[コラム] デジタル時代の複製
[コラム] シングュラリティより愛をこめて

多田伊織
鈴木洋仁
片岡真伊
山田奨治
鈴木洋仁
新井菜穂子
森洋久

第Ⅱ部 剽窃・贋作・模造品の遊泳術

「永仁の壺」と昭和の陶芸史
—ニセモノから芸術史を再考する試み
捏造された人魚——イカサマ商売とその源泉をさぐる
前衛としての生き残り——工藤哲巳の海賊的考察にむけて
シミュレーションイズムと日本
—あるいは日本現代美術における海賊行為の可能性と限界
展覧の《仮山石》について
—中国現代彫刻における「仮（偽る）」という戦略
[コラム] 一八八八年バルセロナ万国博覧会における日本美術品の
違法販売について——新史料発掘と紹介
[コラム] 画家・藤田嗣治の「著作権」興亡史をたどる
—没後五〇年に向けてのノート
[コラム] 機略に満ち溢れたインフォーマル経済
—タンザニアの模造品交易を事例に

藤原貞朗
山中由里子
近藤貴子
平芳幸浩
呉孟晋
リカル・ブル
林洋子
小川さやか

第Ⅲ部 「大航海時代」再考 —海賊の海の歴史を再訪する

海賊史観からみた世界交易史・試論
人類の敵——グロティウスにおける海賊と航行・通商の自由
略奪品か戦利品か
—一六一五年のサント・アントニオ号拿捕事件と幕府の対応
悪石島の寄船大明神とその周辺
[コラム] 一六世紀宣教師記録に見る海賊
[コラム] タイと「海賊」
[コラム] 広州十三行

稲賀繁美
山内進
フレデリック・クレインス
榎本渉
滝澤修身
平松秀樹
劉建輝

第Ⅳ部 認知か越境か？ —近代国民国家体制の 制度的綻びと海賊的侵犯行為と

植民地美術行政における海賊的境界侵犯
—インドシナ美術学校とベトナム画家の「怪帆の術」
アントニン・レーモンドとル・コルビュジエ、建築における海賊行
為——形式ではなく精神性が与えた影響についての考察
ヘレナ・チャブコヴァー
フランスにおける「任意の地区評議会」
—海賊党の液体民主主義と近年の民主主義運用のふたつの動向から
[コラム] ユーゴスラビア内戦と法——ものうり人の情景
[コラム] 一九〇〇年、パリ——模造された大韓帝国
[コラム] 越境的あるいは海賊的——「タタールの木」をめぐって
[コラム] 京都における人と野良猫の関係史

二村淳子
山崎佳代子
李建志
今泉宜子
春藤献一

第Ⅴ部 海賊の修辞学——暗喩と交通

修辞学における西洋と日本と中国
—その受容と変容をめぐって
“Immature poets imitate; mature poets steal”
—テキストの／における〈海賊行為〉にかんする予備的考察
二一世紀に海賊化した「邦楽」
—宮城道雄による邦楽器の改良と新しい楽曲制作でみる〈海賊活動〉
「民主主義」を抱きしめて——石坂洋次郎映画はいかにして「民主主義」を
戦後日本社会に受容させるに至ったか
[コラム] 海賊たちが帰る場所——彼は更に七日待って、鴉を放した。鴉はも
はやノアのもとに帰って来なかった。『創世記』八、十二
[コラム] 殿様と熊とアイヌ文様
—芸術／工芸／おみやげにおけるデザイン流行
[コラム] アラブ演劇の（非）流通から「世界文学」を踏み外す
[コラム] 「公的研究費の不正使用に関するコンプライアンス研修会」
を誉め讃える

テレングト・アイトル
三原芳秋
申昌浩
千葉慶
大橋良介
中村和恵
鶴戸聡
稲賀繁美

航海日誌抄録

海賊商品流通の学際的・文明史的研究で行った3つの美術展
あとがき——あらたな海賊学の船出にむけて
共同研究会開催一覧／人名索引／執筆者紹介

大西宏志
稲賀繁美